
いろいろな話&雑談

ヨッシー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いろいろな話&雑談

【Nコード】

N6252Q

【作者名】

ヨッシー

【あらすじ】

なんかタイトルを変えてみました。雑談とか話って言うてるけど実はいうと挿し絵が盛りだくさんあるという感じの小説です。まあ見たい人はどうぞ！！時にはこういった小説も必要じゃない？と思っただけでした

節分だよ（前書き）

いや〜受験者の私ですが〜更新は受験が終わるまで更新は不明と…

緑ヨッシー

「早く更新してね？」

できたらね

節分だよ

えーどうも受験者の作者です

それと…今回の小説のメインキャラクターズ【チビヨツシーズ】の皆さんにお越しいただきました

緑ヨツシー

「やつほーみんな！元気だった？」

水ヨツシー

「はい！とても元気だったですよ！..」

赤ヨツシー

「俺も当然元気だったけどな！！ワツハツハツハ！！」

ピンクヨツシー

「うそよね？だってつい最近赤ヨツシーインフルエンザにかかってたじゃない」

赤ヨツシー

「あつ…うつ…どちくしょう！！ばれたか！！」

青ヨツシー

「…フツ…所詮は体の弱いバテバテ赤ヨツシーだな…」

青ヨツシーはポツリと呟く

赤ヨツシー

「んだとゴラア！！誰が体の弱いバテバテヨツシーだ！！俺は雨にも負けず風邪にも負けずなぐらい強いんだぞ！？」

緑ヨツシー

「ちよつと赤ヨツシー落ち着いてよ…（汗）」

黄ヨツシー

「風邪じゃなくて風だじょ」（笑）」

そこでツツコミを入れる黄ヨツシーしかし怒りに満ちている赤ヨツシーはツツコミにも耳に入らずただ青ヨツシーを獣のように睨み付ける（ヨツシーは獣だけど（汗））

青ヨツシー

「…フツそんなことを言っているから風邪を引くんだな…」

赤ヨツシー

「作者…噴火…していいか」

駄目だよ！それと赤落ち着きなさい！

水ヨッシー

「ほら作者さんも言っていますからとりあえず落ち着いてくださいよ」

ピンクヨッシー

「そうよ！水ヨッシーの言う通りだよ！！だいたい赤ヨッシーは落ち着きがないっていうか…気にしすぎていうか…」

緑ヨッシー

「そうですねよ！副リーダーとして情けないですよ？」

全員青ヨッシーに味方をつける

赤ヨッシー

「だって！青ヨッシーが生意気なこと言っから…！！」

いまにも泣きそうな赤ヨッシー

水ヨッシー

「やれやれ…とにかく青ヨッシーもあまり赤ヨッシーにからかわないでください(汗)」

青ヨッシー

「…フツ…分かった」

赤ヨッシー

「本当に分かったのかよ…」

小声で呟く赤ヨッシー

…え…騒ぎがおさまったところで今日は節分…ついでに豆まきしますか

黄ヨッシー

「わ～いわ～い豆まきだじょ～!!…いっぱい食うじょ～」

緑ヨッシー

「今日節分だったのですか…すっかり忘れてしまいましたね(汗)」

青ヨッシー

「…で誰が鬼になるんだ？」

フフツッ良いこと聞いてくれましたたね青ヨッシー

ピンクヨッシー

「良いこと？なんのことなのよ？」

実は…鬼さんは…ピンクヨッシーが強制的にやるのです

ピンクヨッシー

「え」

赤ヨッシー

「よし！ピンクが鬼だな？くらえ豆！…」

赤ヨッシーは戸惑っているのに関わらずピンクヨッシーに豆をなげる

ピンクヨッシー

「ちよっといきなりなの！？そんな豆食べてあげるわよ！…」

パクパクと赤ヨッシーが投げた豆を食べるピンクヨッシー

緑ヨッシー

「よーし！僕も！」

水ヨッシー

「僕も！」

黄ヨッシー

「おいらもだじょ〜」

青ヨッシー

「…」 無言で投げる

因みに赤ヨッシーは豆をポリポリと食べていた

ピンクヨッシー

「ちよつとお！？？4対1って酷いわよ！！」

4匹が投げた豆はビシビシと音をたてながらピンクヨッシーに当たっていた

たまらずピンクヨッシーは逃走をした

4匹

「まて〜!?!」

ピンクヨッシー

「まてって言われても待てないわよ!?!」

赤ヨッシー

「このまめ不味い!?!」

今日もチビヨッシーズは元気に豆まきをしていたとさ

節分だよ (後書き)

あゝグダグダや (笑)

受験だね(前書き)

すみません短くてすみません

因みに挿し絵あり(はじめて)

受験だね

どーもスイックンです

受験まであと20日ッス

こんなことを書いてる暇があれば勉強しろって思ってるひと！なかなかいいセンスあるジャマイカ（笑）

黙れ？何それおいしいの？

…はさておき今苦手なのは数学！！特に図形だよ！図形の証明がブッブーなのさ

ブッブーっていうのは……なんだろうねwまあブッブーなのさ（笑）

因みに私は中学3年生だからね

ていつか卒業まで21日！

悲しいな…

でも思いではたっくさん作れた！だから悔いはない！

やっぱり修学旅行が良かった 東京だったな 楽しかった

ディズニーシー行ったな

タワー・オブ・なんとかっていうやつだったな

まあ何はともあれ中学生生活は楽しかった！！

さーて勉強頑張ろっ！

因みに挿し絵あるよ〜

ジャン！！

> i 1 7 9 2 8 — 2 1 3 2 <

随分前に投稿した絵だからね〜

今回は短くてすみません!!

ではさよならヒュー!

受験だね(後書き)

受験頑張ろっ

いよいよ…(前書き)

緊張してきた…

いよいよ…

えーっとみなさんこんにちわです

明日なのですが…いよいよ公立一般入試なのです！ん？こんなところで油売ってる暇があるなら勉強しろって？すみません自重します
(汗)

“ あれって一人ツツコミだよね ”

“ 友達いないのかな？ ”

うおい！？聞こえてますえ！？

まあとにかく明日は全力を尽くして挑みたいと思うんで

頑張つて来まーす(笑)

“ 最近僕たちの出番ないよね ”

“ 題名の意味がないジヨ ”

はいごめんなさいねちびちゃんたち(汗)受験終わったら出番出す

からね (汗)

“…フ”

“それならいいですね”

因みに次回は【レッツ受験終わったカラオケパーティー】するからね
(笑)

“長いネーミングだね”

それではまた受験終了後に会いましょう

…不安で押し潰されそうなこの気持ち

どうにかならないのか…

いよいよよ…(後書き)

早く楽になりたーい!!

挿し絵だー(笑)(前書き)

挿し絵つきです

挿し絵だー（笑）

うーし出来たいよ！

赤ヨツシー

「なにが？」

ふふっそれはポケモンの絵だヒィアアアア！

まあ今回はあれ、絵の具で塗ったから…下手くそかも

うーん皆さん見たいですか？

では見せましょう

赤ヨツシー

「までこら何かつてに…ほげはあ！…」

黙ってな！

因みにスイクンとギラティナの物語に出てくる予定のポケモンです

メリットあるでしょ？

ね？

赤ヨツシー

「はよ見せる…くばはあ…！」

だーから 黙ってな…！

ではどっぞー

> i 1 9 6 6 2 — 2 1 3 2 <

下手くそですすみません（汗）

赤ヨツシー

「絵の具とかムズいやろ…！」

うんムズいよ〜色塗るとき手が震えるんだ

というわけで終わり

赤ヨッシー
「はやっ
」

オマケ

> i 1 9 6 6 3
|
2 1 3 2
<

挿し絵だー(笑)(後書き)

リクエストやってまーす

好きなポケモン書いてほしい方はリクエストじゃんじゃんしてねー

挿し絵2だよ (前書き)

今思えばこの小説、挿し絵小説になってるww

挿し絵2だよ

よし！！リクエストのポケモン達描けたえ

スイク

「やっとだね！！…で？出来はどのなの？」

うんまああかな？

今日は…豪華3枚ダテで載せてやろう！フッフッフ！ハッハッハ！

キラナ

「作者…？」

リードン

「早くみせろう！！早く見てえんだよ！」

わっかりやした

うえい！！

> i 2 0 1 2 7 | 2 1 3 2 <

スイク

「これはmyu・myuさん、ミゲールさん、冬来雪亜さん達がリクエストされたポケモン達を一気にまとめたそーだよ」

そーしーてー

ダイケンキ!!

> i 2 0 1 2 6 | 2 1 3 2 <

リードン

「これは中学の時の担任にあげたポケモンの絵だよ!担任…喜んでののか?」

喜んださ！

最後！オマケコーナー

ヨッシー！

ヨッシー

「こんにちは〜！」

> i 2 0 1 2 8 — 2 1 3 2 <

ヨッシー

「でっでいう！これはスイツクンさんの大親友が描いた作品だつて
！！」

以上を持ちまして平成7年〇月〇日…

全員

「卒業証書！？」

挿し絵2だよ（後書き）

リクエストお待ちしてまし

ヨッシー

「ぶっぶっぶー...」

雑談をしよう1 (前書き)

まずはキャラ紹介です

雑談をしよう1

スイックン

「はい今回は特別に私スイックンが今まで出したキャラで雑談をしたいと思います！まずは【スイックンとギラティナの物語】からです」

スイーク

「いえーい！スイックンのスイークだよー（　　）！」

ギラナ

「ギラティナのギラナだ。よろしくなっ！」

コロロ

「エネコロロのコロロですわ！とにかくねこじゃらしが大好きですわ！」

スイーク

「それは初耳だよ！？」

リザードンのリードさんはただいまどこかで厳しい厳しい特訓をしているためいません

ツバクロウ

「HA HA HA! ひっさしぶりの出番だZE 俺はオオスバ
メのツバクロウだZE AHAHAHAHA」

ムクホーク

「ムクホークだ…。このバカツバクロウの世話をしている」

ヨズ

「フオッフオッフオッフ久しぶりじゃのゝ出番が来るのをどれだけ待
ったことじゃろ…」

バーグ

「よっ！俺はバクフーンのバーグだ！リードンのライバルだがんな
！」

えゝぞろぞろといらっしやった模様ですがまだまだいますぜ

ツバクロウ

「HA! まだまだいるならさっさと出しやがれ！クソ海女！（さっ
さと出そうぜ作者さんよお）」

ムクホーク

「ツバクロウ…焦る気持ちは分かるが本音と建前ぐらいはきちんと
管理しろよ…」

ツバクロウ

「えっ?あ…」

コロロ

「(ツバクロウ終わったわね…いいきみよ)(黒笑)」

キラナ

「(お?コロロってこんな黒かったけ?)」

スイツクン

「ほんと全く困った奴やわね。ツバクロウちょっとこっちにこいや」

ツバクロウ

「いやマジでw?てか言葉づかい汚いですNE作者さん?というか
ここで話ましょつちや」

スイツクン

「いいからこつちこい?」

ツバクロウ

「いやここで話をs」r」

ヨズ

「あの様子じゃと終わったかのお……」

スイク

「今サラリと酷いことをいっちゃたわねヨズ（汗）」

…

スィツクン

「ゴミ処理完了したから話を続けましょうか（黒怒狂笑）」

キラナ

「どうしてだろうツバクロウが灰にみえるのは本当にどうしてだろう」

バーグ

「そこはあえて気にしたら負けだと思っぜ？てかツバクロウって奴

と初対面w」

スイツクン

「さあ！次は【緑ヨツシー&赤ヨツシーがマリオの世界を駆け巡る冒険】から登場します」

緑ヨツシー

「みなさんこんばんわです！チビヨツシーズのリーダー緑ヨツシーです！」

赤ヨツシー

「うおい！俺は赤ヨツシーだ！情熱家の赤ヨツシーと覚えてくれ」

水ヨツシー

「僕は理数系が大好きな水ヨツシーです。みなさんよろしくお願ひします」

ピンクヨツシー

「あたしはチョーレディなピンクヨツシーよん」

黄ヨツシー

「おいらは黄ヨツシーだじょ〜」

青ヨツシー

「フツ…青ヨツシーだ」

クリスチーヌ

「あたしはクリスチーヌよ！よろしくね！」

フランクリ

「フランクリだ！クリスチーヌくんを助手としているのだ」

ペケダー

「ゲヘヘ…ペケダーだ」

ピーチ

「キノコ王国の姫ピーチよ」

マリオ

「マリオです フヒヒ」

ルイージ

「兄さん…キモいよ（汗）ルイージです」

スイツクン

「以上！そしていきなりですが雑談は次の話で行います」

スイツケン

「ですのでお楽しみに」

雑談をしよう1（後書き）

この小説をよんでいる人にいいお知らせ！

神曲【ウィンドガーデン】をぜひ聞いてみてください！

マリオギャラクシーでのマジで神曲ですから

ぜひYoutubeで

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6252q/>

いろいろな話&雑談

2011年10月7日23時59分発行